

診療科研修コース

診療科研修名【麻酔科コース】

1. 診療科(専門領域)

麻酔科、救急領域

2. コースの概要

外科系基礎プログラムと麻酔科プログラムを研修

3. 取得資格

3年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医()、麻酔科標榜医資格。

4. 長期目標

・術前患者の評価

1) 心電図、心エコーの解釈、呼吸機能、血液データの解釈ができる

2) 理学的所見、全身状態の評価ができる。術前状態をASA-PSであらわす

3) 合併症をもつ症例に対する麻酔の実施

呼吸不全(気管支喘息、Hugh-Jones呼吸機能障害分類)の評価ができる

心筋梗塞、高血圧、糖尿病、腎不全、肝硬変、心不全(NYHA度)、ペースメーカー

一植え込み患者の麻酔管理 意識障害の神経学的評価ができる

4) 適正な輸液療法ができる 5%ブドウ糖、維持液、細胞外液の病態に応じて使い分けができる

5) 各種モニターの取扱いができる

5. 取得手技

・中心静脈、観血的動脈圧の留置ができる

・気道確保、気管内挿管は必須 ラリンジアルマスク・エアーウェイスコープを使用経験してみる

・必要なスワンガンツカテーテル留置ができることが望ましい

・各種非観血的モニターの呼吸、循環上の持つ意義と解釈

・硬膜外ブロックを中心とした術後疼痛対策を学ぶ

6. 研修期間

3 - 2 年間

7. 募集人数

2 名

8. 前年度診療科別手術件数と目標症例数

診療科	手術件数(年間)	目標症例数(1年間)
腹部外科	1000	1000
脳外科	200	200
整形外科	600	600
泌尿器	250	250
産婦人科	300	300

手術	件数（年間）	目標件数（1年間）
全身麻酔（単独）	2000	2000
腰椎・硬膜外麻酔（単独）	250	500
局所麻酔	900	1000

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 2 名、非常勤 名

診療科研修の指導にあたる医師 2 名

主として研修指導にあたる医師の氏名

赤松 哲也

〃

診療科経験年数

24 年

10. コンセプト

・これから麻酔の質を問われる時代になる。それはとりもなおさず、患者様（手術を受ける）にやさしい、安全な手術、麻酔が求められている。しかし、Minimum invasive surgeryが趨勢になるにつれむしろ麻酔管理は難しくなると思う。日々の研鑽をのぞみたい。

さらに我々の関与する領域として、集中治療、緩和医療、pain clinicなど幅広い分野が拓けている。

11. 一般目標

・術前患者の評価

1) 心電図、心エコーの解釈、呼吸機能、血液データの解釈ができる

2) 理学的所見、全身状態の評価ができる。術前状態をASA-PSであらわす

3) 合併症をもつ症例に対する麻酔の実施

呼吸不全（気管支喘息、Hugh-Jones呼吸機能障害分類）の評価ができる

心筋梗塞、高血圧、糖尿病、腎不全、肝硬変、心不全（NYHA 度）、ペースメーカー

一植え込み患者の麻酔管理 意識障害の神経学的評価ができる

4) 適正な輸液療法ができる 5%ブドウ糖、維持液、細胞外液の病態に応じて使い分けができる

5) 各種モニターを使うことができる

12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修

可能

不可

施設外との交流研修

可能

不可

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談して決定

13. 共通領域研修について

・医療安全管理研修会の開催（年4回）